茅野市議会　2021年9月定例会(第42号)

# 野沢明夫の議会報告

■災害発生時の議会対応と行政への配慮・そんたく　？？

宮川高部安国寺の災害発生に伴う議会運営日程の延期が決まり、議案に関係しない常任委員会はその開催を中止。所管する分野のテーマ研究や視察も行わなかった。一般質問は一日目が終了していたが、職員負担を考慮して二日目以降の中止しても良いのではとの声も一部議員から聴かれた。予算決算委員会での令和二年度決算審査においては、例年の総質問回数の平均185回に比して、126回の質問件数で68%にとどまった。2日間一問の質問もしない議員は4人、一回のみは3人であった。ちなみに平均質問回数は7.4回である。質問するもしないも議員個人の判断で行うべきで、異論はないが、一般質問は、行政全般への課題の指摘や提言、決算委員会では各事務事業の適否を質すのが議員の役目であり、私は義務だと思っている。

審査の様子を実況カメラで公開するか、発言内容や回数を一覧で発表するのも一考である。

議員は行政を、市民は議員を監視・評価していただける情報公開が必要であると思う。

## ■　一般質問

## ■　質問番号１番　「お役所言葉の改善」

庁内で使われる言葉で、一般社会通念とかけ離れて、違和感のある言葉を称して「お役所言葉」と言う。

●全員協議会の説明の言い回し。「財政推計をご説明させていただきます」「コロナ患者は増加してございます」「各地区懇談会は中止と決定してございます」議員からの質問に対して「議員さんご指摘の内容につきましては」と続きました。市長さんも禁止！

「～となります」「～となってございます」等の丁寧語表現は正しくないのではないか。

●周りくどい表現　「～について十分留意をしながら、可及的速やかに推進を図ってまいりたいとこのように考える次第でございます。よろしくご理解をお願い申し上げます。」変だと感じませんか。

●専門用語や略語：**国調**「国勢調査」　**国保**：国民健康保険、**生保**：生活保護（生命保険）**児扶**：児童扶養手当などがあり、わかりづらい。

●専門用語やカタカナ、英語使い

**「DX推進」についての説明。**

『国の示すデジタル社会の形成の基本理念は各自治体へDX（デジタルトランスフォーメーションデジタルによる変化変革改革：交差横切る trance）実現に向けた首長や幹部職員によるリーダーシップや強いコミットメント（関与）を求めている。DX推進のアルゴリズム（手順）は、一般職員へのOJTやOFF-JTによる研修を求めるとともに、専門性の必要性から外部人材のスキルを必要とするフェーズに入っている。DXは最終的に新しい価値の創出にあり、そのニーズに応えるためガイドラインに沿って政策のブラッシュアップを図り、プッシュ型行政手続きの実現を目指している。その基本はデータであり、EBPM（Evidence-Based Policy Making 統計データなどの客観的証拠に基づく政策立案の事）が可能となり行政の効率化や高度化が図られ、新たな価値が創出（そうしゅつ）されることになる。』　そもそも字句の意味が分からなければ言葉が通じていないに等しい。これじゃわからん。

改めてわかりやすく聞きやすく優しい言葉に変えてもらいたいものである。

## ■質問番号２　「包括連携協定について」

市は数多くの民間企業との間で様々な分野で連携協定を結んでいます。どのような基準の下にそれらが締結され、実施されているかの質問。

包括連携協定とはそもそもどのようなものか？**「公民連携の形、地域課題に対して自治体と民間企業が双方の強みを生かして協力しながら課題解決に対応するための大枠を定める枠組み」**と定義される。

社会的貢献責任として本業のビジネスに求められる収益性を求めない取り組みが本来のすがた。しかし一方では、企業側からの提案は営業活動である。

●災害、防災協定に関しては、建設業団体、業者との締結内容は　災害復旧工事　災害時の対応などで平生の契約への考慮がなされる（総合評価等）

●締結には、市側からの働きかけ「公告」がある場合と，企業側からの提案の場合があります。

入札やプロポを経ずに、特定の企業が自治体が政策決定を行う段階から地域課題の解決に係わることができるのは企業側からはメリット、いずれ利益に直結する。また、計画策定段階からかかわれるということは、市側からの公告された案件の仕様変更が可能。裏返せば独断、他者の入り込めない仕様も可能になる。当然、自治体が特定の民間企業に肩入れすることは許されません。

●スーパーシティー構想や、DX 構想、西口再開発、公共交通施策の全てが同じ構図の中で締結されてきています。今回の「地方創生に係る包括連携協定」の LPWA（低消費電力での長距離通信技術）は市内で防災減災の情報収集して技術開発した後に事業化してゆく、行政は環境整備としてそこへ財政負担してゆくことになります。果たして地元企業の育成に繋がればよいがと思うが、実際は厳しく、中央の大手企業になるだろうと予想されます。

●国の施策は日本の頭脳と言われる人たちの手でつくられ、それを実行する大手民間企業の情報量や知見は一地方自治体で対応できるほど単純なものではないことがわかってきました。大切なことは経過の詳しい説明だと思います。

## 6 月議会以降現在までの活動内容

６月２４日　６月定例会閉会・広報公聴委員会
都市計画審議会・議連農政懇話会
議会運営委員会
７月　３日　美サイクル茅野クリーンウォーク
マイナンバーカード受け取り
４日　市総合体育大会ソフトテニス大会
５日　広報部会議会だより
６日　茅野ライオンズクラブ例会
７日　茅野倫理法人会モーニングセミナー
議会活性化委員会基本条例部会
県警対議員聞き取り調査
９日　交通議連全体会議
１１日　茅野 LC 親睦ゴルフ大会
１２日　学びカフェ勉強会
１４日　茅野倫理法人会モーニングセミナー
議会全員協議会
福祉教育委員会協議会
１８日　小江川ポンプゲート施設説明会
一回目コロナワクチン接種保健Ｃ
２０日　諏訪南行政事務組合議会定例会
２１日　茅野倫理法人会モーニングセミナー
２３日　東京オリンピック開会
２５日　区草刈り出払い
２６日　議連農政懇話会
２７日　山岸正衛様奥様ご葬儀
２８日　茅野倫理法人会モーニングセミナー
３０日　議会基本条例部会諏訪市議会視察研修
８月　１日　有機農法後援会原村自然文化園
２日　茅野市表彰式自治功労者表彰受賞
湖東地区懇談会中止延期
３日　歯医者
４日　茅野倫理法人会モーニングセミナー
６日　茅野市平和記念式
学びカフェ勉強会
７日　原田正樹先生懇談会
８日　ニホンリスの会役員会
１１日　議会活性化委員会議会基本条例部会
議会全員協議会、活性化委員会
正副部会長会議
１２日　９月定例会告示一般質問受付開始
１３日　ワクチン２回目接種
１８日　茅野倫理法人会モーニングセミナー
１９日　福祉教育委員会協議会懇談会
一般質問行政聞き取り作業
２０日　一般質問受付最終日
２１日　戦没者等合同追悼式
湖東地区戦没者追悼法要
２３日　補正予算先決申入れ、議長諮問受取
議会運営委員会、議会側議運
２５日　９月定例会開会
福祉教育委員会協議会
２７日　学びカフェ勉強会・歯科医院
２８日　河西和子様ご葬儀
２９日　区草刈り出払い
９月　１日　議案質疑・全員協議会
３日　一般質問①日目
５日　市防災訓練
６日　集中豪雨土石流対応一週間延期
７日　広報部会議会だより検討
８日　交通議連全体会議
１０日　議会運営委員会日程調整
１２日　美サイクル災害ごみ分別受入手伝い
１３日　一般質問②日目
１４日　一般質問③日目
予算決算委員会補正予算
全員協議会災害報告
１５日　交通議連全体会議・学びカフェ
１６日　予算決算委員会決算審査
１７日　予算決算委員会決算審査
広報公聴委員会
２１日　胃がん定期診断
２２日　議会運営委員会
９月定例会閉会
２４日　諏訪南行政事務組合議長委員長会議
２７日　諏訪南行政事務組合議会
２８日　議会運営委員会・議長諮問審査
１０月１日　美サイクルセンター竣工式
２日　美サイクルクリーンウォーク手伝い
６日　婚活支援団体連絡会
８日　学びカフェ勉強会
１３日　議会全員協議会

■野沢明夫事務所　㈱　野沢内
〒391-0301 長野県茅野市北山北大塩道 6891
TEL：0266-77-2058　FAX：77-2052
携帯：090－9667－1396
Facebook　見てください
E-mail　akky4241@po30.lcv.ne.jp